



“さくらの会”便り

| | | |
|------------------|------|------|
| 発行責任者 | 会長 | 山本静子 |
| 編集責任者 | 事務局長 | 上原 栄 |
| Tel.0773-22-7859 | | |

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

地域と共に支え合う

講演会 会から11名が参加



令和5年1月28日午後1時半～4時、綾部市の「日東精工アリーナ」にて綾部市主催の本多伸行先生（関西福祉科学大学作業療法士）の講演会（高次脳機能障害について地域と共に支えあうために～高次脳機能障害とその他の障害を比較しながら～）が開催され、さくらの会からは、11名が参加しました。

この目に見えない障害に向き合っていただいていことに感謝し、今後の活躍に期待しております。



当てはまることが多

以下参加者の声を紹介します。



これからの活動に期待

S・S（談）

本多先生の講演会は、この会に参加するキッカケになったグループ訓練でお世話になったことから懐かしく感じました。

妻が古川さんから会の存在を教えて頂き、市民HPでのリハビリが頭打ちになり、路頭に迷いかけていたため、急いで上原さんに連絡し、時間切れながら許可を得てグループ訓練に参加する事になったことが思い出されます。



Y・S（談）

講演会に参加して、改めて脳の働きの説明を聞いて、当てはまるどころがたくさんありました。

それが病気のせいなのか性格的なものなのか？どちらにしても、あの人は病気をしたから、と差別的に思われるのではないかと心配になります。

主人のようにグレーゾーンの人には問題点を減らしていく努力をもっとしないといけないのか、病気だから仕方ないと考えてもいいのか？

本人にはキツイかもしれませんが、近頃は少しスパルタ式に、気になる事は言葉にしていくようにしています。



(次ページへ)

(前ページから)



気持ちを切り替えて

K・A (談)

本多先生の講演会に参加させていただいて、今までは当事者にしてほしい事に自分を基準に考え、なんで簡単なことができないのかと、厳しく接していた事に反省し、当事者の立場に立って接する事の大切さを改めて教られました。

今後の生活に活かしたいと思います。



私自身も心身に疲れを持っていますが、少しずつでも気持ちを切り替え、引きこもりから脱却し、人との関わりを、回復していきたいと思いました。

もどかしさを感じた

S・O (談)

本多先生は、患者さんと直接関わっておられるので、細やかな対応をされている感じが伝わりました。

私もコロナ前迄はボランティアで高次脳障害の会に行っていました。失語症の方、板書の文字が覚えられないので、何度も見ながら書き写す人など、目に見えない障害は、もどかしいものが有ると感じています。

具体的なことが聞けた

A・M (談)

先生の話は勉強になった。限られた時間の中で、全部説明するのは難しいですね。でも質疑応答では、具体的に聞きたかった事が聞けて良かった。

新春交流会

和やかに交流を深める

親心ノートの勉強も

令和5年2月26日10時～13時まで、福知山市駅前町の「市民交流プラザふくちやま」にて、新春交流会を開催しました。

*当事者グループは、当事者6名と支援会員2名家族1名が参加し、高次脳機能障害を受傷した経緯、本多先生のグループ訓練後の状況はどうだったか、そして今年の目標をそれぞれ書いてもらいました。新春交流会に初めて参加の方もあり、お互いに障害の状況・経緯が良く分かりました。

今後の活動に繋がる当事者グループの交流会でした。

*家族グループは、家族5名、支援会員等4名が参加し、藤井奈緒先生（一般社団法人「親なきあと」相談室 関西ネットワーク代表理事）による講演（「親なきあと」障がいのあるわが子のために 親心ノートの書き方・活用の仕方）を聞きました。

全体の交流会では、当事者交流会、家族交流会の報告を受け、全員での昼食会ではフリートークで交流を深めました。



(次ページへ)

参加者の声

Y・M(当事者)

「ストレス発散の場は、必要だと改めて感じる場でした。

当事者と家族の間のストレスは、たまるものなので 交流会がうまくガス抜きになっていると実感されました。可能な限り参加を続けたいです。

T・M(当事者)

「当事者だけで話せる時間を多く取って頂いた事で、それぞれの特徴があり、話すスピードや理解するまでの時間などに気付く事が出来て、良かったです。



当事者全員が一生懸命自分の思いを伝えたい感じが受け取れました。ありがとうございました。

M・K(家族：母親)

家族の方々だけの場で、今回講師に来られた《藤井奈緒先生》の話が良く理解出来て、有意義な時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

N・H(支援会員)

「会員の皆さんの元気な顔を見てほっとしました。今は、支援会員の一人ですが8年前は家族会員でした。当事者はもとより、家族のご苦勞が軽減し、また頑張ろう!!という気持ちになる「さくらの会」です。

今回、講師の方も障害を持った子供さんがおられる中、奮闘中の講師の話は具体的に感動しました。また、当事者の若い方々

▼当事者グループ交流会で言われていたこと。頭で思っていること、考えていること、体の動きが違う。それがストレスとなり自己肯定感が持てないと▼自分の障害を意識できていることにすごいと思った。自分自身も、考えさせられました。【U】

が中心になりバス旅行の企画が実現すればと期待しています。

私の目標は



当事者に今年目標を書いてもらった。

- S・S・・・定年まで勤めて、後は家族仲良く暮らしていきたい。
- H・T・・・他人の人とお話をする。自分の考えを主張する。
- T・M・・・同じ病を持つ人達との和を広めたい。
- Y・M・・・のんびり、余裕を持って
- K・T・・・島根に行きたい
- K・T・・・自分では出来たり決めたりする事はむずかしいけど、自分の事は自分で行動ができる社会になって欲しい。

第19回定期総会

総会のお知らせ

【日時】：令和5年4月16日(日)

総会：午前10時から11時

講演：11時10分から

体験談「高次脳機能障害と私」

講師 水谷剛志(会員)

※12時～お弁当を準備します
昼食をしながら交流

【場所】：綾部市保健福祉センター
2階

電話0773-42-0111

総会の開催についての詳細は次ページ

令和5年4月1日

さくらの会
会員の皆様へ

中丹高次脳機能障害者と家族の会『さくら』
会 長 山本 静子

『さくら』第19回定期総会の開催について

日頃からさくらの会へのご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症のおそれがあるため、感染防止対策（検温、手指消毒等）をとりながら、第19回定期総会を下記のとおり開催いたします。ご多忙とは存じますが万障繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和5年4月16日（日） 受付9：30～
・総 会 午前10時～11時 ・講演 11時10分～12時（昼食13時）
2. 場 所 綾部市保健福祉センター 2階
綾部市青野町東馬場下 15-6 電話：0773-42-0111
3. 議 題
 - ① 令和4年度活動経過報告
 - ② 令和4年度会計報告
 - ③ 令和4年度会計監査報告
 - ④ 令和5年度 活動計画（案）
 - ⑤ 令和4年度 財政方針（案）
 - ⑥ 令和5年度 予算（案）
 - ⑦ 令和5年度 役員選出
 - ⑧ その他
4. 講 演
体験談 「高次脳機能障害と私」
講師 水谷剛志 会員

（昼食・交流会 12時～ 13時）

5. その他

当日はコロナ禍が収まりつつあり、昼食があります。総会出欠の有無等を、

4月8日までに、（丹後）野村俊彰（0772-72-2326）

（舞鶴）大槻節子（0773-76-4733）

（綾部）山本静子（0773-49-0584）

（福知山・その他）上原 榮（0773-22-7859）までご連絡下さい。